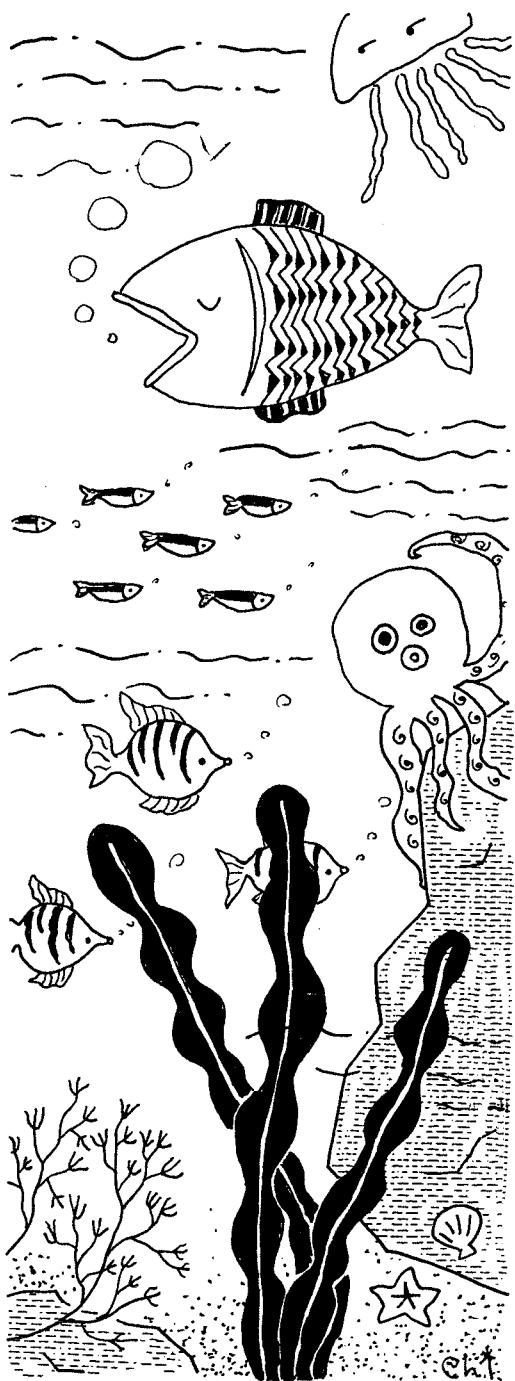


1999年7月7日 Vol. 10

せんだい・みやぎNPOセンター 事務局通信



## 気づいた人から動き出す、 Y2K問題と市民活動の相関関係。

Y2k（西暦2000年）問題をご存知ですか。コンピュータが西暦2000をカウントすることで生じるかもしれない、様々なトラブルのことです。わたしは、事務所や自宅で使っているパソコンが動かなくなるのは困るな、ぐらいに思っていました。ところが、考えてみるとわたしたちの暮らしのほとんど、電気・ガス・水道・石油・流通など、ライフラインといわれるものは、コンピュータで管理されているんですね。

この時期の日本は、クリスマスからお正月にかかるころ。そういうときに、電気や水やガスが止まっちゃうかもしれない。アメリカでは、この時期を[ものすごい嵐が来て、1週間ぐらい山小屋に閉じ込められた]と思って、備えたほうがいいと言っている人がいます。幸い日本には、おせち料理というお正月の保存食がありますが、これで食の準備ができても、暖房や飲み水の確保というのには気になります。

行政や関係する電力会社など公共的な事業者は対策は万全(?)といってますから、何にも起こらないかもしれません。でも、2000年問題だけが災害を引き起こすわけでもないし、1週間分の災害時の準備をしておこうと思って備えておくことも、無駄にはならない。

「災害時、救援の手が準備が整っていない弱者に優先的に届くように、先に準備が必要と気づいた人から行動して準備しておくことが大切なんです」と言ってた、アメリカ人のことばが印象的でした。こういう行動って、市民活動を始めるきっかけにも似ているような気がしてしまいました。

せんだい・みやぎNPOセンター 事務局長 紅邑晶子

### 【今回の主な内容】

- 法人化作業を終えて
- 新理事紹介
- 法人化記念講演会＆交流会
- NPO法制度部会勉強会
- 仙台市市民活動サポートセンター始動
- 当センタースタッフ紹介
- 総会・企画委員会報告
- 法人化お祝メッセージ集
- 部会・活動報告会員紹介・募集・催事

6月21日認証 法人化作業を終えて

理事 新川 達郎

せんだい・みやぎNPOセンターは、6月21日、特定非営利活動法人としての認証を宮城県から受け、7月1日には、法務局への登記をもって、いよいよNPO法人として改めて出発することになった。法人設立は、センターの当初からの目標の一つであったし、毎年の総会でも早急に申請することが確認されてはいたが、実務はやはり大変であった。定款や予算、事業計画書等の案文を作成し、これらをもって本年2月の臨時総会においては法人設立に向けての議決を受け、さらに申請書類等を整えたり、県との折衝を経て申請を行ったうえ、関係書類の2カ月間の縦覧期間を経て、ようやく今日に至ったのである。

もちろん、法人化は、センターにとっては通過点であり、せいぜいワン・ステップ・アップであるに過ぎず、認証・登記ができたからといって、騒ぐほどのことではないのかも知れない。仙台市市民活動サポートセンターの運営受託に法人格が必要だなどという理由はとるに足りない些末な話であり、本末転倒も甚だしい理由付けであろう。

むしろ実際に則していえば、市民活動がこれまでおかれてきた現実と特定非営利活動促進法（NPO法）の成立（1999年）それ自体のインパクトが大きいのである。これらは、我々が積極的にこの法人制度を活用し、市民活動の未来を切り開く役割を果たしていかなければならない責務とを、強く感じさせるものであった。

というのもNPO法は、明治以来の官治主義と第2次大戦後の経済中心主義との狭間で、辛うじて息づいて来ていた市民とその自発的活動を、再び我々の社会の正面に位置づける第1歩だと考えたからである。もちろん法制度の不備は深刻であり、税制面を初めとして改正すべき点は多いし、経済企画庁や各都道府県の運用にも、改善すべき側面は多い。とはいえ、我々自身がこの制度を使いこなすところから、すべては始まるというべきであり、そのうえでこそより良い法制度づくりへの展望も提案も生まれてくると確信している。そしてそれこそが市民活動を担うものとして、本来のあり方かもしれないと思うと考えている。

先に法人化は通過点であるといったが、一方では、法人格の取得によって、我々の活動は大きく発展するチャンスを手に入れることにもなった。法人化は、市民活動にとって、厄介な側面もあるが、本来的には極めて有効な道具なのである。センターは、今、これから、人格をもつ社団として活動することになる。メンバーの誰かではなくセンターこそが市民活動を支える担い手となり、センターとしてその責務を負うことになる。組織的な活動の継続や発展、より良いサービスの提供、情報公開と説明責任、そして組織の効率的経営などが、これまで以上に重要な課題となってくるが、その責務をより良く果たすためにも法人制度は基本的な活動や運営の枠組みを提供してくれる所以である。

ともあれ、センターには、この法人化をきっかけにして、さらなる活動展開を図っていくことが期待されている。願わくば会員各位と共に、この期待に適切に答えられるよう努力を重ねていきたいと考えている。

## ●新理事紹介

### 石田 春子 (WACまごころサービスみやぎ)

WACまごころサービスみやぎに協力会員として設立当初（平成5年）から参加し、在宅福祉について多少経験してきました。ここ数年の、仙台市・宮城県内におけるホームヘルパー・配食・宅老等の住民互助のNPOの活動は質・量共に目覚ましいものですが、その陰には、各NPOの涙ぐましい努力があると思います。

資金・場所・マンパワーの確保など切実な問題を広く人々にご理解頂き支援していただけるよう微力を尽くしたいと思います。

### 川村 志厚 (経営デザイン研究所)

名前の読み方は「しこう」です。漢学と国学の教師だった父親が凝りに凝つて付けたのです。めったに無い名前なので、損得相半ばの人生です。山形県長井市の出で、年の割に若く見えます（と本人が思っている）が、60歳です。長くビジネスの世界に身をおいてきました。ヨーロッパでの生活体験が私のNPO活動の原点となっています。結果的に企業セクターとNPOセクターのコーディネイト役を果たすことになったのかもしれません。

## ぜひ、ご参加下さい 法人化記念講演会・交流会

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター誕生。

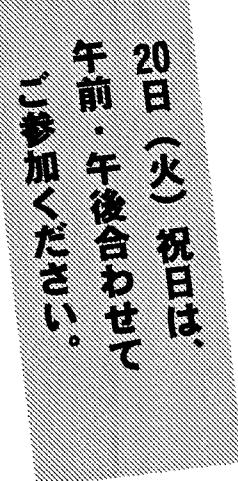
当センターは、かねてより特定非営利活動法人の申請を提出しておりましたが、99年6月21日(月曜日)に宮城県知事より認証され、7月1日に登記を行い、特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンターとなります(※7月1日登記し、7月12日頃までの補正期間を経て、法人となります。)。そこで、法人化を記念いたしまして、下記のとおり記念講演会・交流会を開催いたします。会員の皆様はもちろん、当センターのこれからにつながるNPO関係者、企業、行政、市民の方々もお招きして、法人化をご一緒に祝したいと思いますので、多くの皆様のご出席をお待ちいたしております。

●テーマ 「21世紀 - NPOの可能性」

●講師 松原 明氏 (シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 事務局長)

●日時 7月20日(火) 祝日 13時30分～17時30分

☆催事案内参照 (10ページ)



### NPO法制度部会勉強会

## いまから始めよう！NPO法税制の改革

昨年12月1日より施行された特定非営利活動促進法(NPO法)。99年6月18現在、全国で795団体が申請を行ない、278団体が認証されています。しかし、このNPO法では、税制優遇措置の検討は、「NPO法施行後3年以内に行なう」とされており、検討に対する働きかけや対案作りをする期間はすでに残りわずか2年半足らずになっています。そこで、当センターでは、NPO支える税制のあり方について学ぶ[場]を企画いたしました。ご関心のある方はぜひこの勉強会にご参加ください。

●内容 「米国のNPO税制の概要説明」「日本のNPO税制の問題点確認」「今後立法する上でのNPO税制の検討点」「立法のための運動展開法」

●講師 松原明氏 (シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 事務局長)  
黒澤学氏 (せんだい・みやぎNPOセンター法制度部会 部会長)

●日時 7月 20日(祝) 10時～12時

### ●新理事紹介

#### 黒澤 学 (仙台NPO研究会)

これまでNPO法制度部会長を仰せつかって参りましたが、法人化にともない理事も拝命することになりました。当センターは、仙台市市民活動サポートセンターの管理運営の受託により、有給理事及び職員だけでも16名の体制となりました。現下、日本最大のNPO法人であります。ここまで規模が拡大すると、理事の関わり方にも一考が求められるでしょう。ちなみに、営利法人では理事職を取締役と呼び、経営責任、雇用責任などを負わせています。やれやれ・・・。ともあれ、よろしくお願ひ申し上げます。

#### 八木 充幸 (仙台はなもく七三会)

市民活動的なことには関わってきたが、正直言って私にとってNPOとの縁は浅い。仙台市の市民活動にかかる二つの委員会で、NPOのいろんな方々と知り合い意見を交わす(もちろん輸入超過です)中で、多くの知見を得るとともに心を揺さぶられ、引き込まれるものがあった。

それ以来生活、仕事などのほかにNPOがテーマに加わった。私の社会への窓としてNPOの支援に関わっていきたい。



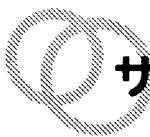
## 仙台市市民活動サポートセンター始動

去る6月30日、仙台市市民活動サポートセンターが開館しました。当センターではこのサポートセンターの管理運営を任せられ、6月1日より、採用したばかりのスタッフ12人(常勤9名、非常勤3名)と当センター常務理事(加藤・紅邑)により、開館までの準備と研修をスタートさせました。

主な仕事は、開館後すぐに整っていかなければならない貸し館機能のためのシステム作り、スタッフの育成、施設の整備など。すべてがゼロからのスタートになるため、スタッフはスタッフ研修と同時進行で、様々な書類の確定とその作成、施設の環境整備を行ないました。6月15日には、研修室などの予約受け付けやロッカー・レターケースの利用受付が始まり、実質的な仕事もできる体制を整えつつ開館のための準備もすることになりました。

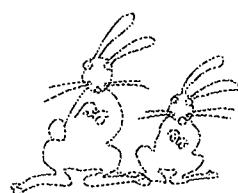
これだけ短期間で、開館までにすべての体制を整えることができたのは、意欲的なスタッフを雇用したことことが幸いしているといえると思います。スタッフになったメンバーはいずれも、21世紀の仕事として市民活動を支える役割の重要さを実感して応募してきた人たちです。このような人たちが求める仕事場であったこと、そういう場が提供できたことは、当センターにとって幸いなことではありました。まだ課題は山ずみです。

これからこのセンターは、市民活動を支援する施策として市民や市民活動団体のニーズは何か、ニーズにどのように応えるかをセンターで見つけ出していく現場になると思います。そのためには、利用者の声やノウハウを力にして、柔軟性を持った対応と市民活動支援についての確かなビジョンを示すことが必要だと思います。



## サポートセンターオープニング記念企画

市民活動サポートセンターのオープンを記念して、7月3日特別講演会と特別パネルセッションが行われました。6月30日（水）は、「21世紀の社会システムを支える市民活動」をテーマに山岡義典氏（日本NPOセンター事務局長）が、7月3日（土）は「市民活動のサポートをめぐるホットな話」というテーマで、岡島龍彦さん（かながわ県民活動サポートセンター）、土屋真美子さん（まちづくり情報センター・かながわ/通称アリスセンター）、後房雄さん（市民フォーラム21・NPOセンター）が意見を交換しました。現場の経験を基にした発言に、参加した方々も熱心に耳を傾けていました。



NPOフォーラム'99東北会議

フォーラム

### 「21世紀への予感～市民サイズの新たな力～」

6月21日の幹事会にて今年のテーマが決まりました。市民活動団体に所属している方、企業、経済界、行政の方で構成する実行委員会がこれまで4回行われました。毎回20名を越す出席者の中、

熱のこもった会議が繰り広げられています。現在は、2日間で10のセミナーと13の分科会をそれぞれ担当する委員が決まり、具体的にコーディネーターや報告者の人選を進めています。内容は、7月末配布予定の要項にてお知らせいたします。

スケジュールを空けていてくださいね!!

## 開催決定！ NPOフォーラム'99東北会議

場所：仙台市 日程：9月18日（土）～19日（日）  
全国のNPO関係者が集う貴重な機会です。ぜひご参加を！

## 1998年度通常総会報告

6月5日（土）仙台市旭ヶ丘市民センターにて、当センターの平成10年度通常総会が開催されました。八木充幸さん（企画委員長）の司会で、まず規約第24条に基づき議長の選任を行い、理事の新川達郎さんに議長をお願いしました。

はじめに、総会の成立の確認を行い（正会員数145のうち、正会員出席25名、委任52名、計77名：規約23条正会員及び理事の過半数以上）、引き続き議事録署名人として小林純子さん、鈴木俊博さんを選任しました。

今総会では、まず1998年度の事業報告および収支決算が、続いて1999年度事業計画追加および収支補正予算が承認されました。この中の事業計画追加（案）では、1. 仙台市市民活動サポートセンターの管理運営受託についてと2.NPOフォーラム'99東北会議について説明。拍手をもって承認されました。収支補正予算（案）では、2月に承認された予算との相違点（仙台市市民活動サポートセンター受託業務収入、特別事業支出、増額と減額の項目）について説明し、承認されました。

その他の確認事項として、法人化後の評議会・企画委員会についての説明、せんだい・みやぎNPOセンター新職員の紹介などを行いました。



## 企画委員会報告

去る6月5日、旭ヶ丘市民センターにて第4回企画委員会が行われました。（出席委員8名・委任状3名、出席理事5名・委任状4名。議長、八木委員長。）今回は、委員の任期の確認（当センター企画委員会等設置規定参照）、法人化に伴う新年度企画委員の規定変更についての説明を紅邑副委員長から行いました。

企画委員の任期は理事に準ずることから、この6月までの任期となります。残念ながら退会された委員の方が3名いらっしゃいますが、他の委員の方は継続を了解されました。但し、お仕事の都合や健康上の都合により、部会長の辞退の申し入れがありました。また、新しく採用になった職員の部会への参加体制と、就業規則も含めた規定の見直しや改正が必要となります。改正のポイントとしては、委員は会員及び職員とすることや部会編成の見直しがあげられます。詳細は、7月の理事会で決める予定です。会員の皆様には追って、結果をお知らせいたします。また、会員の方で、一緒に企画委員として活動したい方がいらっしゃいましたら、ぜひ、理事あるいは事務局までお知らせください。お待ちいたしております。



## センダード部会

部会長 安部優佑

### 「NPOができるサポート」シリーズ

## 企業フィランソロピィ一部会

遠藤智栄

当サロンでは、「企業とNPOのパートナーシップを考える」と題し2回続けて議論してきました。そしてこの2回の話し合いの中で「具体的な実行をしていこう」という声が高まり、アクションプランに入れることになりました。

#### 【提案された意見のグルーピング】

1. 企業とNPOのマッチング。具体的事例づくり。  
例、サロンに参加しているNPOと企業、NPOエイドキャンペーン、企業キャンペーン、CM制作
2. 企業の調査  
例、社会貢献活動、地域との関わり、NPOを理解している企業の意識調査対象、支店企業 地元企業調査を通じ、NPOの社会的役割を伝える、企業の仲間を見つける
3. 商品のモニター、評価（市民、NPO=顧客）  
例、企業の商品の評価、介護用ロボット
4. その他  
企業とNPOのインターンシップ制度、企業のボランティア休暇制度活用法、ホームページの活用、NPO活動年間スケジュールを本にする、ニュースレターに広告スペースを設ける、端数俱楽部ネット、企業とNPOの協働イベント

●次回7月13日（火）には、参加者の希望を伺いながらアクションプランの担当を決めていきます。感心のある方なら初参加も大歓迎です。ぜひ、ご出席ください。

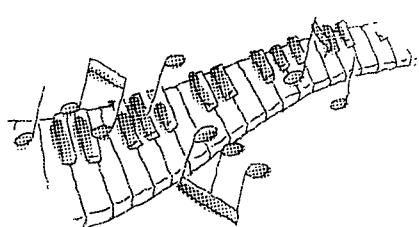
今回からのサロンは、その対象となるテーマに取り組むグループにもお声がけして、「NPOができるサポート」についての具体的な話し合いを重ねていきます。

5月は「NPOができる子どもへのサポート」がテーマでした。今おきている問題への取り組みや予防面からの取り組みなど、子どもをめぐるさまざまな問題に対して実際に活動しているグループやテーマに関心を寄せている人等、21名が参加。それぞれのグループの紹介から、子どもだけでなく親へのサポートの必要性、地域の役割、施設、父親の役割、大人への期待、行政との関係など、実にさまざまな視点で話し合いが進み、白熱した2時間となりました。

6月は18名が参加して「NPOができる障がい者へのサポート」。障がいをもっている、もっていないということを超えて支え合っていくことについて、障がいに対する理解等についての話し合い、問題解決策が話し合われました。

この2回を通して、一つのテーマに取り組むさまざまなグループ間の情報交換、意見交換、あるいは問題共有の場の必要性を感じています、そして、そこにグループという枠を超えた個人の参加もOKだからこそ、視点の拡がりが得られるのだと思います。しばらくはこのシリーズを続けていきたいと思いますので、どんどんご参加ください。

●次回は、「NPOができる県内在住外国人へのサポート」です。



### ■市民活動サポートセンタースタッフ〈常勤〉

- 尾市守 (182cm.69キロ.0型) お茶のくに、静岡県から来ました。仙台のお茶は飲んでいませんが、まあ、静岡にはかなわんでしょう。どうなんですかね、加藤さん、紅邑さん？あ、自己紹介もせずにこんなこと書いていたら、また二人に怒られてしまう。加藤・紅邑両氏の痛すぎる愛のムチに耐えながらも、しぶとく日々精進している尾市守です。宜しくお願ひ致します。
- 菅野郁美 1990年に仙台YWCAのグループ活動で、“JAPAN—Through the Eyes of Women Migrant Workers”(日本語版:『HELPから見た日本』)を読み始めたことがきっかけで、「人が人として尊重されながら生きること」の大切さを日々の生活の中で問いかけるようになりました。滞日外国人支援や日韓交流の活動と出会い、今回、“仙台市市民活動サポートセンター”で働く事につながったような気がします。
- 工藤寛之はじめまして。定禅寺通りの新緑に迎えられ、潮騒の聞こえる鎌倉の街から6月1日に来仙しました。住み慣れた街を離れての1人暮らしは初めてのことですが、仙台は学生の頃、町おこしのフィールド・ワークとNGO活動の関係でよく足を運んだ街。並木道の美しさに惹かれ、「いつかは住んでみたい！」と思っていましたが、意外な形でその希望は叶えられました。鎌倉市市民活動センターでの経験を生かし、業務に一杯励もうと思っております。よろしくお願ひします。
- 小浜耕治 東北H.I.V.コミュニケーションズのメンバーで、5月までは学習塾で中学生、高校生に数学や理科を教えていました。94年ごろに横浜エイズ会議などに出掛けた時、いろんな人に会ってパワーをもらったのを思い出します。今度はサポートセンターで日常的に多くの人の思いをつなげてゆく役割を担うわけですが、そのためには日々勉強！…しなくちゃ！
- 中津涼子 生まれも育ちも青森の私が、いろいろな巡り合わせで、仙台にやってきました。仙台は知り合いがほとんどないので、仕事を通していろいろな人にお会いできることが楽しみになっています。現在のこだわりはズバリ”東北”。生まれ育った土地を大切に考えたいと思う今日このごろです。どうぞよろしくお願ひ致します。
- 布田裕子 皆様はじめまして。フダユウコと申します。自己紹介と言っててもあまり特徴のあるほうではないと思うのですが…とりあえず性格は比較的明るいかな？という感じです。体を動かすことが好きで登山、テニス、近頃は体育館のトレーニング室に通ったりしています。お酒も好きで強くはないのですが誘われれば断りませんので今度ぜひサポートセンターまで予約をしに来て下さい。お待ちしております。
- 松尾敏行 神奈川県の横浜から参りました。アリスセンターにおいて障害者とその仲間によるパソコン通信ネットの事務局をやっておりました。また、都市近郊の里山において田んぼや森づくり作業をおこなったり、環境教育の活

動を行っておりました。環境問題や自然に興味を持っています。山登りやバード・ウォッチングも好きなので、仙台でいい所があつたら教えてください。よろしくお願ひいたします。

●安国起世 (やすくにきよ・きよぞー) 1975年、大阪生まれ。大学生活を鶴岡(山形県)で過ごす。大学卒業後、仙台に移り住み「杜の伝言板 ゆるる」の記者ボランティアを始め、現在に至る。

●遊佐さゆり (ゆうささゆり) この度ご縁がありました、市民活動サポートセンターで仕事をすることになりました。「社会的・公益的な市民活動」に携わるのは初めてです。でも今までの「地域活動(町内会・子供会育成会・生協委員会・学年PTA)」と「友人・有志の自主上映会(ガイア・シンフォニー1番2番3番上映)」と「公務員・会社員・パート・アルバイト」の経験を生かして、風通しの良い場を作りたいと思います。

### ■市民活動サポートセンタースタッフ〈非常勤〉

●菅野良嗣 (かんのよしつぐ) 「自称」好青年である。非常勤ということもあり、求職活動にも余念がない。目指すは島耕作や金太郎のようなまっすぐで魅力的な社会人である。他センターからの引き抜きも歓迎である。が待てど来ない…。「仕事」が恋人♪という充実しているけどでも辛い日々を送っているが、センターの他にもエイズキャンペーン、福島大生協の理事などにも力を注いでいる面、結構浮気ものかもしれない…。なお、JobWeb「NPOで飯を喰う」分科会もやっている。

●関谷忠夫 皆さんこんにちは、せきたにただおでござります。まだまだびちびちの学生です。近所に茶色の猫がいる。奴はトーマス。ちょっと気の小さいところなんか俺に似ている。せんぜん俺になつかないトーマスが、最近はあんまり逃げなくなつた。奴も大人になってきた。俺も大人にならなければ、サポートセンターで。

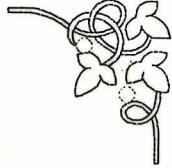
●高田篤 (東京都出身。男。1973年1月19日生まれ) 現在、東北大学大学院経済学研究科(地域計画論・非営利組織論)在籍中。趣味:水泳。昨年の今頃から、せんせい・みやぎNPOセンターの様々な活動に関する機会をもつようになりました。今回縁あって、スタッフとして働くことになりました。大学と仕事の「二重生活」を大いに満喫したいと考えています。よろしくお願ひいたします。

### ■事務局スタッフ 〈常勤〉

●遠藤智栄 (えんどうちえ、血液型B型、山形県出身、趣味:山登り、水泳、温泉めぐり) 今まで携わった仕事や興味(地元経済・文化、グリーンツーリズム、地域活性化、民俗学、東北学)を深め、NPOの視点から見つめ楽しみ、行動したいと思います。ジャンルを問わず、楽しく、ためになる情報お待ちしています。大町のセンター事務局にお気軽にお越し下さい。

## せんだい・みやぎNPOセンター スタッフ紹介 よろしくお願ひします！

法人化にあたり、お祝いのメッセージをいただきました。  
ありがとうございました。



法人化おめでとうございます。内閣府人材育成センター  
が運営するもとへんば研究会から、  
お入りなさる予定でござります。  
NPO日本センター事務局  
（日本NPOセンター）

おめでとうございます。  
NPO法人として、社会の中での役割と形  
が整っていくのだとと思ひます。  
みなさんに喜んでいただけたら、私たちも、  
九州の方で、形になりていくよう、  
精一杯努力をしようと思つてます。  
坂本祐二 NPOふくおか事務局長

せんだい・みやぎNPOセンター  
皆様へ

NPO法人として新たな出発おめでとうございます。  
NPOを取り巻く課題解決にむけ、せんだい・みやぎ・  
NPOセンターの果たす役割は、県内のみならず全国  
的にも大きな期待が寄せられていると思います。  
広島も申請を出しました。これからも共にがんばっ  
て行きましょう。今年は市民活動サポートセンターの  
運営やNPOフォーラムの開催と多忙なことと思いま  
す。体には気をつけて。

仙台でお会いできることを楽しみにしております。  
ひろしまNPOセンター  
一同

会長 青木哲信  
常務理事事務局長 中村隆行

使命を担う人こそ法人の命だと思  
います。トライオーターを自體に走らせる  
事に、日本精神文化研究所(財團法  
人)の運営に貢献する事務局やセンターの  
運営等との連携とふれあいは、全  
く新しい。始まりは(財團法  
人)日本精神文化研究所(財團法  
人)の運営に貢献する事務局やセンターの  
運営等との連携とふれあいは、全  
く新しい。

## 会員紹介

### 平成11年度会員 新規・継続ありがとうございます。

社会福祉法人仙台いのちの電話、日本の精神医療を変える会、あかねグループ、N  
POふくおか、NPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元、松山風土研究会、長田  
洋子、佐竹敬之、鈴木俊博、峯岸弘至、渡邊摩里、高橋賢二、庄子平弥、木村正樹、  
横須賀和江、伊勢康昌、佐藤和文、伊勢武彦、内海睦夫、佐藤和夫、八木充幸、石  
田春子、紅邑晶子、藤田佐和子、郷家友夫、三浦義勝、新川達郎、関口美恵子、大  
泉浩一、入間川隆一、半田智久（順不同、敬称略）

## 活動報告

### 【センター・事務局関連】

- ・ ゆるる会議(4/26・5/19)
- ・ 事務局会議(4/26・5/10・15・17・24・31・6/7・14)
- ・ よろず相談(4/30・5/7・14・21・28・6/4・11・18・25)
- ・ 理事懇談会(5/13 石田・加藤・川村・木村・黒澤・紅邑・八木・山田・横須賀 6/18 石田・大滝・加藤・黒澤・紅邑)
- ・ CCFサロン／企業フィラーンスロビー部会(5/13・6/15 紅邑・八木・遠藤)
- ・ NPOフォーラム'99東北会議 第1回幹事会(5/17 加藤・紅邑・山田)
- ・ NPOフォーラム'99東北会議 打ち合わせ(5/17-18 日本NPOセンター田尻・加藤・紅邑)
- ・ 仙台市市民活動サポートセンタースタッフ面接(5/19 加藤・黒澤・紅邑 オブザーバー: 中村・横須賀)
- ・ センダードサロン「NPOができる子どもへのサポート」(5/19)「NPOができる障がい者へのサポート」／センダードサロン部会(安部・紅邑・遠藤)
- ・ 第21回 理事会(5/21) 第22回理事会(総会前理事会) 第23回理事会(6/25)
- ・ 監査(5/25 小島・加藤・紅邑 5/26 長谷川・加藤)
- ・ 総会資料発送作業(5/26)
- ・ 運営会議(5/29 加藤・黒澤・新川・紅邑・山田)
- ・ 新職員 入社式(6/1 加藤・新川・紅邑)
- ・ 職員研修(6/1~加藤・紅邑 6/2大滝講演 6/4山田講演 6/9POWER岡田氏ワークショップ)
- ・ NPOフォーラム'99東北会議 プレ企画打ち合わせ(6/4・10・19)
- ・ 通常総会／旭が丘市民センター 第一会議室(6/5)
- ・ NPOフォーラム'99東北会議 第2回実行委員会／戦災復興記念館(6/10)
- ・ NPOフォーラム'99東北会議 第2回幹事会／戦災復興記念館(6/10)

### 【NPO関連】

- ・ デラウェア大学主催NPO関係研修 NPOワークショップセッション(4/25 中村・藤田・紅邑・横須賀)
- ・ デラウェア大学主催NPO関係研修 市内視察(4/26 紅邑)
- ・ NPOフォーラム・札幌 ／NPO推進北海道会議(5/15 黒澤)
- ・ MIMINET 第36回例会(5/20 紅邑)
- ・ グローカルクレイジーアカデミー開講式基調講演／主催: 岩手中部4青年会議所(北上・江刺・水沢・花巻)(5/22 加藤)
- ・ NPOプラザなごやオープン記念全国シンポジウム／共催: 市民フォーラム21・NPOセンター／NPOサポートセンター／日本NPOセンター／せんたい・みやぎNPOセンター／ひろしまNPOセンター(5/22 山田)

- ・ NPOサポートセンター連絡会全国会議'99／主催: NPOサポートセンター(5/28-29 青木)
- ・ グローカルクレイジーアカデミー／北上青年会議所(6/12-13 紅邑)
- ・ NPO経営大学／埼玉(6/12-13 加藤)
- ・ 青年会議所宮城ブロック協議会ブロック大会(6/13 紅邑)
- ・ ロータリークラブ 講演(6/15 紅邑)

### 【行政関連】

- ・ NPO活動促進中核拠点整備検討会／宮城県(4/30 紅邑・山田 5/13-5/28・6/10-24 加藤・山田 6/12公聴会 山田)
- ・ 仙台市市民活動サポートセンター運営管理について／市 市民活動支援室(5/7-28 紅邑 5/13 加藤・黒澤・紅邑・八木 5/20 加藤・黒澤・紅邑)
- ・ 県 政策課 打ち合わせ(5/7 加藤・紅邑)
- ・ 仙台市「ごみの散乱のない快適なまちづくり」を進めるための行動計画 打ち合わせ／市 環境局廃棄物管理課(5/20-6/14-22 加藤・紅邑)
- ・ 環境学習リーダー養成講座打ち合わせ／市 環境局環境計画課(5/20 加藤・紅邑 6/1 加藤・遠藤 6/9加藤)
- ・ 宮城県立図書館跡見学(5/27 加藤)
- ・ 宮城県食生活改善推進員連絡協議会栗原支部総会 講演(5/27紅邑)
- ・ 宮城県大規模事業評価委員会／県 木か産政策課(6/3紅邑)
- ・ 第1回環境リーダー養成講座／仙台市科学館(6/6 加藤・遠藤)
- ・ 法人認証／県 環境生活部環境生活・文化課(6/22 大滝・加藤・横須賀)

### 【取材・ヒアリング】

- ・ デラウェア大学ジャネットさん、県 環境生活部 櫻井さん 来訪(4/26 紅邑)
- ・ せんだんの杜／市民・ボランティア活動応援センター 小野寺さん打ち合わせ(4/28 紅邑)
- ・ 國際芸術文化交流協会 柳川さん来訪(4/30)
- ・ ロータリークラブ 黄海さん来訪(5/12 紅邑)
- ・ 読売新聞社 長内さん取材(5/14 紅邑)
- ・ きょうどう学生ボランティアセンター 赤澤さん、山形大学 黒澤さん来訪(5/16 加藤・紅邑)
- ・ きょうどうNPOセンター 尾澤さんほか4名(5/18 加藤・紅邑)
- ・ 高松市 池田さん来訪(5/22 紅邑)
- ・ 山形県土木課 渡辺さん来訪(5/25)
- ・ 宮城県情報政策課 渡辺さん、閑さん来訪(5/26 加藤)
- ・ 発送作業ボランティア 荒井さん、峰岸さん来訪(5/26)
- ・ みやぎボクシング協会 今野さん来訪(5/27 加藤)
- ・ 蔵王のブナと水を守る会 佐藤さん来訪(6/2)
- ・ シャブランニール 坂口さん来訪(6/8)
- ・ テルウェル 熊谷さん相談(6/21 加藤)

●申請中

まみんか 東北まちづくり協議会  
不忘アザレア  
ひまわり  
WACまごころサービスみやぎ  
宮城ボランティアドッピンググループ  
ひたかみ水の里  
環境会議所東北  
けやきオフィス町内会  
せんたい・みやぎNPOセンター  
みやぎボクシングクラブ  
住民互助福祉団体ささえ愛山元  
藏王のブナと水を守る会  
いきいきハウス石巻  
ゆうんどあい  
みやぎ災害救援ボランティアセンター  
宮城県ボランティア協会  
宮城県ボランティア協会  
特定期非営利活動法人申請状況  
宮城県内  
6/21現在

## 募集・催事

センター関連

## 催事

## ■アニメ上映会「エンジェルがとんだ日」

日時：8月3日（火） 4回上映  
 場所：仙台市福祉プラザ  
 前売券：大人1500円、子ども1000円、親子ペア券2000円  
 問い合わせ：ソキウスせんだい TEL022-301-1252

## ■現代国際巨匠絵画展

日時：9月11日（土）～13日（日）  
 場所：フォレスト仙台  
 問い合わせ：C I Lたすけっと TEL022-246-7840

## ■七夕花火祭ボランティア募集

①七夕ウォールアートボランティア  
 日時：7月7日～8月8日まで、3時間交代制で数日間  
 ②七夕花火祭当日ボランティア  
 日時：8月5日  
 場所：西公園付近一帯  
 問い合わせ：伊勢さん 携帯090-2950-7080

## ■平成11年度地球環境市民大学校海外派遣研修募集

コース：フィリピン実践コース  
 日程：8月20日（金）～10月5日（火）  
 メ切り：7月14日（水）必着  
 問い合わせ：環境事業団地球環境基金部業務課  
 TEL03-5251-1537

※11月～12月にネパール・バングラデシュ視察コースを実施予定

## ■'99AKKサマーセミナー

「緑の蔵王で出会いとふれ合いを  
 -講師・斎藤学を迎えて-」  
 日時：8月27日（金）～29日（日）2泊3日  
 場所：宮城蔵王、遠刈田温泉他  
 参加費：2泊3日 26,000円、日帰り参加料金あり  
 問い合わせ：AKK事務局 TEL 03-3329-0130  
 AKK仙台事務局 鈴木さん 携帯090-1065-7078

## せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804

仙台市青葉区大町2-11-3みさわやビル402  
 tel 022-264-1281 fax 022-264-1209  
 E-mail minmin@jca.ax.apc.org



せんだい・みやぎNPOセンターの基盤は、会費によって支えられています。  
 ぜひ、ご入会いただき当センターと共にNPOの志や思いを社会的な力に変えていきましょう。

## みんみん歳事記

・事務所にいる時間が多いと、日中外に出ることも少なくなります。このところ、大町のNPOセンターから本町のサポートセンターまで出かける機会があり、日中の街の中を通ることが多くなりました。それも、自転車で駆け抜けていくと、歩いている時とはまた違って風が気持ち良いこと…。昼間の街の表情を横目に、目的地へ向かい、梅雨の晴れ間の路地裏探検といったところでしょうか。早いところ、迷わず本町をめぐりたいものです。（A.Y）

・いま、わが家の前庭はどくだみの花が満開を迎えています。これが白くて小さく雌しべが黄色く、とても可愛いのですよ。毎朝目がさめるとカーテンをザアッと開けるのですが、最近はその度に和んで思わずニッヒ微笑んでしまっています。この庭はある2匹のネコの通り道にもなっていて、眠気まなこでボーッとしていると目が合ってしまうのです。ネコも私も驚いて、数秒間ハッと固まってしまったり。あの瞬間は何とも言えずドキッとする瞬間です。本当に狭いスペースなのですが、庭木、花、鳥、ネコ…いろいろ楽しませてもらっています。Thank You! (E.C)